

請願第 2 号

大規模風力発電施設の建設計画案を住民の立場から主体的に
審査されることを求める請願書

下記の者から別紙要旨による請願書を受理したから、議会の審議に付する。

記

請願者 京丹後市峰山町 XXXXXXXXXX
丹後労働組合総連合
議長 藤原 利昭

令和 3 年 9 月 2 日 提出

京丹後市議会議長 金 田 琮 仁

令和3年第5回京丹後市議会9月定例会
請願文書表

- 1 件 名 大規模風力発電施設の建設計画案を住民の立場から主体的に
審査されることを求める請願書
- 2 受理年月日 令和3年8月20日
- 3 受理番号 第2号
- 4 請 願 者 京丹後市峰山町 XXXXXXXXXX
丹後労働組合総連合
議長 藤原 利昭
- 5 紹介議員 京丹後市議会議員 田 中 邦 生
- 6 請願の要旨等 別紙のとおり
- 7 付託委員会 総務常任委員会

受付
3.2.20
議会事務局
総務課

大規模風力発電施設の建設計画案を住民の立場から 主体的に審査されることを求める請願書

紹介議員

田中 邦生

【請願の趣旨】

- 1 丹後半島2市1町にまたがる大規模風力発電施設の建設計画案の可否をめぐり、住民の立場から主体的に調査・検討されるよう、京都府と京丹後市に強く求めていただくこと
- 2 上記建設計画案について、京丹後市議会として調査権や権能をいかし、審議を尽くしていただくこと

【請願の理由】

今般、丹後半島の2市1町において、複数の事業者から大規模な風力発電施設の建設計画が打ち出されています。山岳地帯の尾根筋に、1基あたり3千平方メートルをこえる造成工事を行い、130～180基の風車を最大44基設置しようという計画です。

地域によっては計画の詳細が知らされていない住民も少なからず残されており、不安の声があがっています。実際に、山を削り谷を埋めるという大型事業にたいし、「貴重な生態系や生物多様性が大きく破壊される」「建設工事にともない河川の汚濁や、熱海市で起きたような土砂災害の危険が高まりそうで不安」「建設予定地はいずれも修験道の聖地であり、大型風車の設置による景観破壊は歴史的文化的遺産を損なうもの」「設置場所によっては1キロメートル以内に集落が入り、低周波による健康被害がこわい」「建設にともなう大型車両の流入での交通問題が不安」などさまざまな懸念が表明されています。

もとより、温室効果ガスの排出削減を目指し、再生可能エネルギーの最大限の導入等の地球温暖化対策を大胆に実行するとした国策は大切であると考えます。しかし近年、風力発電建設にかかわり各地で事業者と住民の紛争が起きています。環境省は「風力発電等の事業化に当たっては、立地適地をめぐって事業計画が集中することによる累積的影響が懸念される事例や、騒音やバードストライク等の環境影響や周辺住民の反対意見等が顕在化している事例が見られます」と指摘し、「関係者・関係機関による調整の下で風力発電の導入を促進するエリア、環境保全を優先するエリア等をあらかじめ設定するゾーニング手法が有効」「ゾーニングは、戦略的環境アセスメント（SEA：Strategic Environmental Assessment）の性格も有しており、早期の計画段階から重大な環境影響を回避する取組としても位置づけられ」として、地方公共団体による主体的な関与を推奨しています。

以上をふまえ、環境基本法やアセス法、関連法と条例にもとづく審査にとどまらず、建設計画案の影響評価とその可否について、京都府と京丹後市が住民の立場から主体的に調査・検討されることを強く求めるものです。

2021年 8月20日

京丹後市議会

議長 金田琮仁 様

請願者

所在地 京丹後市峰山町

丹後労働組合総連合

議長 藤原 利昭

事務局長 尾崎 敏